

養護教諭一種養成課程を有する大学125大学のうち、看護系大学の78校が課程を認可されています。看護系大学が育成する養護教諭の能力を高めることは、養護教諭の実践力を保証するうえで重要なことといえます。この状況から、養護教諭の養成のあり方を早急に検討する必要があると考え、JANPUは臨時委員会として「養護教諭養成教育検討委員会」を組織いたしました。

本検討委員会では看護系大学で養成する看護能力を基盤とした養護教諭のコアコンピテンシー及び養成カリキュラムを検討することを目的としています。

この調査は平成27年10月に第一次調査を行い、その結果を12月の「看護系大学の養護教諭養成にあたる教員のためのワークショップ」で共有し、ご意見をいただきました。それらのご意見をさらに委員が検討し、文言の追加、修正を行いました。

このたびはその修正案54項目についてご意見をいただき、現時点でのJANPUの見解としたいと考えております。

*本アンケートは平成28年3月24日（木）までにご回答いただきますよう、お願いいたします。短い期間でのお願いになりますことをご容赦ください。

検討委員

委員長：荒木田美香子（国際医療福祉大学）

委員：片田範子（兵庫県立大学）、津島ひろ江（関西福祉大学）、
櫻田淳（埼玉県立大学）、池添志乃（高知県立大学）

検討会では「看護系大学で育成する養護教諭」に求められるコンピテンシーとして、54項目を設定しました。①これらの項目は妥当だと思いますか。また、②学部卒業時点の到達度として、どのレベルにあることが望ましいと思いますか ③貴学ではこれらのコンピテンシーに関する教育をおこなっていますか、の3点について、会員校のご意見を聞かせていただきたいと存じます。

*1 教員としての養護教諭の実践を支える基本的能力

教育の妥当性 (4.非常に妥当だと思う 3.どちらかといえば妥当だと思う 2.どちらかというとも妥当ではない 1.妥当ではない) 、卒業時点の到達度 (4.単独でできる 3.指導の下で実施できる 2.学内演習などで実施できる 1.知識としてわかる 0.妥当ではない) 教育の実施状況 (2.実施している 3.実施していない 0.学年進行中) からそれぞれ、選んでください。

教育の妥当性

卒業時点の到達度

教育の実施状況

1. 養護教諭の専門性と基本的職務を説明することができる

2. 学校教育の理念と学校保健の目標を説明することができる

3. 学校経営方針および組織の経営方針を設定する意義を説明することができる

4. 学校保健の構造を説明することができる

5. 学校安全の構造を説明することができる

6. 学校経営計画、学校保健計画、学校安全計画、保健室経営計画の関係性を説明することができる

7. 保健室経営計画の立案、実施、評価の方法を説明することができる

Iの領域で追加・修正のご意見がありましたら記載してください

*** II ヒューマンケアの基本に関する実践能力**

教育の妥当性 (4.非常に妥当だと思う 3.どちらかといえば妥当だと思う 2.どちらかというとも妥当ではない 1.妥当ではない)、卒業時点の到達度 (4.単独でできる 3.指導の下で実施できる 2.学内演習などで実施できる 1.知識としてわかる 0.妥当ではない) 教育の実施状況 (2.実施している 3.実施していない 0.学年進行中) からそれぞれ、選んでください。

教育の妥当性	卒業時点の到達度	教育の実施状況
8. 子どもの権利を擁護する		
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
9. 保護者の権利について説明することができる		
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
10. 子どもの自己実現を支援する		
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
11. 子どもや保護者が意思決定できるよう適切な情報提供をする		
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
12. 子どもや保護者が健康課題に、主体的に取り組めるよう支援する		
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
13. 実施した支援について根拠と意義を説明する		
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
14. 子どもの家庭環境を把握して保護者との信頼関係を築く		
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
15. 教職員・関係機関・関係職種間で相互に信頼できる関係性を築く		
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

IIの領域で追加・修正事項がありましたら100字以内で記載してください

*** III 根拠に基づき個別・集団への支援を計画的に実践する能力**

教育の妥当性 (4.非常に妥当だと思う 3.どちらかといえば妥当だと思う 2.どちらかというとも妥当ではない 1.妥当ではない)、卒業時点の到達度 (4.単独でできる 3.指導の下で実施できる 2.学内演習などで実施できる 1.知識としてわかる 0.妥当ではない) 教育の実施状況 (2.実施している 3.実施していない 0.学年進行中) からそれぞれ、選んでください。

教育の妥当性	卒業時点の到達度	教育の実施状況
16. 健康管理や疾病管理に関する子ども(子ども達)の知識を把握する		
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
17. 健康管理や疾病管理に関する保護者の知識を把握する		

教育の妥当性

卒業時点の到達度

教育の実施状況

18. 家庭環境および保護者の教育力について、把握する

19. 子どもたちがより良い健康状態を保つために必要な総合的支援計画を立案する

20. 子ども(子ども達)の心身の健康状態を観察して、支援の優先順位を判断する

21. 看護学、教育学、医学、疫学、保健学、心理学などの知識を基盤にして保健指導を行う

22. 保護者の健康状態や地域実態に適した健康教育を計画、実施、評価をする

23. 支援に対する子ども(子ども達)や保護者の反応を把握し、PDCAサイクルを展開する

24. 子ども(子ども達)の自己肯定感を育む

25. 子ども(子ども達)の発達段階に応じた心身の発育発達を促す支援を行う

26. 発達段階に応じたセルフケア能力を育成する

27. 子ども、保護者、教職員が活用できる社会資源や協働できる機関・人材について情報提供する

28. 学校周辺の地域性、文化、教育・医療環境を把握して支援に活かす

29. 子ども(子ども達)の支援と、保護者の支援を必要時間関連させて支援計画を立案する

Ⅲの領域で追加・修正事項がありましたら100字以内で記載してください

*Ⅳ 特定の健康課題に対応する実践能力

教育の妥当性 (4.非常に妥当だと思う) 3.どちらかといえば妥当だと思う 2.どちらかというとう妥当では

ない 1.妥当ではない)、卒業時点の到達度 (4.単独でできる 3.指導の下で実施できる 2.学内演習などで実施できる 1.知識としてわかる 0.妥当ではない) 教育の実施状況 (2.実施している 3.実施していない 0.学年進行中) からそれぞれ、選んでください。

教育の妥当性

卒業時点の到達度

教育の実施状況

30. 生活習慣の確立に向けて、保護者を通して子ども (子ども達) への働きかけをする

31. 子どもが、自らの健康課題を認識し、主体的に取り組んでいるかどうかを把握する

32. 保護者が、子どもの健康課題を認識し、主体的に取り組んでいるかどうかを把握する

33. 経時的な客観的・主観的データを分析して健康課題を把握する

34. 子ども (こども達) の健康課題を明確にし、適切な保健教育を計画、実施、評価をする

35. 子ども・保護者が、自らの健康課題に、主体的に参画できるよう機会・場・方法を提供する

36. 事故や感染症の対策及び予防策を学校保健組織で講じる

37. 緊急時に症状を冷静に判断し、緊急度をアセスメントし、必要な行動をとる

38. 救急時には教職員間で連携して対応できるよう、リーダーとして適切に指示する

39. 特別支援教育の意義と生じている課題を理解して必要時コーディネーターの役割を果たすことができる

40. 家族の習慣や生活に合わせた支援を行う

41. 子どもや保護者の自己管理を支援する

42. 子どもや家族の意向を確認しながら、学習活動を維持するための支援を行う

43. 医療機関と連携を取り、学校で安全に安心して過ごせるよう、支援する

IVの領域で追加・修正事項がありましたら100字以内で記載してください

* V ケア環境とチーム体制整備に関する実践能力

教育の妥当性 (4.非常に妥当だと思う 3.どちらかといえば妥当だと思う 2.どちらかというとも妥当ではない 1.妥当ではない)、卒業時点の到達度 (4.単独でできる 3.指導の下で実施できる 2.学内演習などで実施できる 1.知識としてわかる 0.妥当ではない) 教育の実施状況 (2.実施している 3.実施していない 0.学年進行中) からそれぞれ、選んでください。

教育の妥当性

卒業時点の到達度

教育の実施状況

44. 子どもの健康状態の向上を目指して、教職員の支援能力の向上に寄与する

45. 校内組織を活用し、チームで支援する体制を整備する

46. 支援目的に応じて、校外組織や社会資源を活用する

47. 学校内で医療的ケアが安全に実施できる環境を整える

48. 虐待やいじめの疑いがある子どもに対して教職員と連携し、安全に配慮しながら支援する

49. 校内支援システムの構築に向けて、校内外の教職員・関係者と協議・調整を行う

50. 支援や対策の実施に向けて、教職員や関係機関と協働し、活動内容と人材の調整（配置・確保等）を提案する

51. 学校管理下での事故に関して、適切な事後措置を行うと共に予防対策を講ずる

52. 特別な教育ニーズを持つ子どもへの心身の健康管理面での支援を行う

Vの領域で追加・修正事項がありましたら100字以内で記載してください

* VI 専門職者として研鑽し続ける基本能力

教育の妥当性 (4.非常に妥当だと思う 3.どちらかといえば妥当だと思う 2.どちらかというとも妥当ではない 1.妥当ではない)、卒業時点の到達度 (4.単独でできる 3.指導の下で実施できる 2.学内演習などで実施できる 1.知識としてわかる 0.妥当ではない) 教育の実施状況 (2.実施している 3.実施していない 0.学年進行中) からそれぞれ、選んでください。

教育の妥当性

卒業時点の到達度

教育の実施状況

53. 教育研究などに参画し、養護教諭としての専門能力の向上に努める

54. 養護教諭の実践に求められる知識・技術に関して、自己研鑽をし、高い実践能力をめざす

VIの領域で追加・修正事項がありましたら100字以内で記載してください

その他、ご意見、ご指摘などございましたら、ご記入ください(100字まで)

その他、ご意見・ご指導欄(2)：自由記載 100字まで

* 貴大学名をご記入ください

* あなたの大学では、養護教諭養成課程以外の教員養成課程がありますか

- 有り
 無し

* 主として養護教諭養成にかかわる教員数は何名ですか。また、そのうち養護教諭免許を持っている人は何名ですか。

主として養護教諭養成にかかわる教員数

養護教諭養成にかかわる教員の内、養護教諭免許を持っている教員数

* 回答者についてお伺いします。あなたの職位を下記から選んで下さい。

- 教授
- 准教授
- 講師
- 助教
- 助手
- その他

* 平成27年度の養護教諭一種免許取得者数（学年進行中は「進行中」とご記載ください）